**■新型コロナウイルスワクチン効果を確認したい方へ■**

**ワクチン接種後スパイク蛋白抗体(中和抗体)検査**

過去の感染もしくはワクチン接種により、新型コロナウイルスに対する免疫を獲得した場合は中和抗体(スパイク蛋白抗体)の抗体価が上昇します。中和抗体が高ければ必ず感染しないと保証するものではないですが、「過去の感染」「免疫獲得」を確認するための非常に有用な指標です。

当院は喘息の患者様が多いため、重度のアレルギー体質の患者様が来院されています。

アレルギー体質の患者様は新型コロナワクチンを接種すること自体に不安を持たれています。過去に感染したかはっきりしない場合は感染により既に抗体が備わっているかを知っておきたい患者様も多いと思います。

また、COPD(慢性閉塞性肺疾患)や高血圧のといった基礎疾患のある患者様も多く来院されており、新型コロナウイルスに感染した場合に重症化するリスクが高いため新型コロナワクチンを接種後に十分な抗体がついているのか不安に思われている患者様も多いと思います。

当院では、新たにスパイク蛋白抗体検査を行うことが可能となりました。

従来までは既感染の有無のみを調べるヌクレオカプシド蛋白(N蛋白)抗体検査を行っておりましたが、スパイク蛋白(S蛋白)抗体検査を実施することにより、「過去の感染」もしくは「ワクチン接種により免疫(抗体)を獲得できているか」の判定ができます。

**スパイク蛋白抗体(中和抗体)検査はどんな人におすすめか？**

以下のような患者様にはスパイク蛋白抗体検査をおすすめします。

・ステロイドや免疫抑制剤を使用しているため抗体が備わったか不安に思われている方。

・ワクチン接種前や接種後に、ご自身の抗体価を確認したい方。

・過去に新型コロナに感染したかはっきりしない、もしくは新型コロナに感染した方でワクチン接種を悩んでいる方（過去に新型コロナに感染している場合でもWHOはワクチン接種を推奨しています）。

・１回目のワクチン接種時の副反応が非常に強かったため、2回目の接種が心配で、既に抗体がついているか確認したい方（ワクチンは２回接種が推奨されています）。

**スパイク蛋白抗体(中和抗体)検査はいつ受ければ良いの？**

* ワクチン接種後の方→２回目の接種を終えて10日後以降（もしくは１回目の接種を終えて14日後以降)
* 過去の感染が気になる方→症状が出現して14日後以降

※　現在、コロナウイルス感染の症状がない方が対象です。

(新型コロナウイルス感染症ではIgG抗体は発症後10日ほどで上昇し、14日目以降はほぼ100%陽性になるとされています。またファイザー社のワクチンを接種した日本人を対象とした試験では2回目の接種を受けてから１週間すると十分な抗体が獲得されていると報告されています。)

**スパイク蛋白抗体(中和抗体)検査の費用と報告日数は？**

検査方法は採血検査により行い、後日の結果報告の受診を含めて、自費検査にて8,800円（税込）となります。

結果報告までの処方日数は、4日です。

結果は後日、来院受診にてお伝えいたします。

**スパイク蛋白抗体(中和抗体)検査の精度は？**

検査製品はRoche Elecsys Anti-SARS CoV-2 RUOであり、COVID-19感染ではPCR陽性後14日目以降の感度は98.8％。また、5991例の健常検体による特異度は99.98％です。

